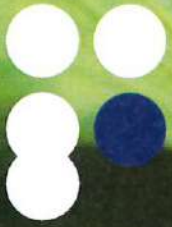




植物のチカラが生んだ、環境にやさしい除菌消臭液。

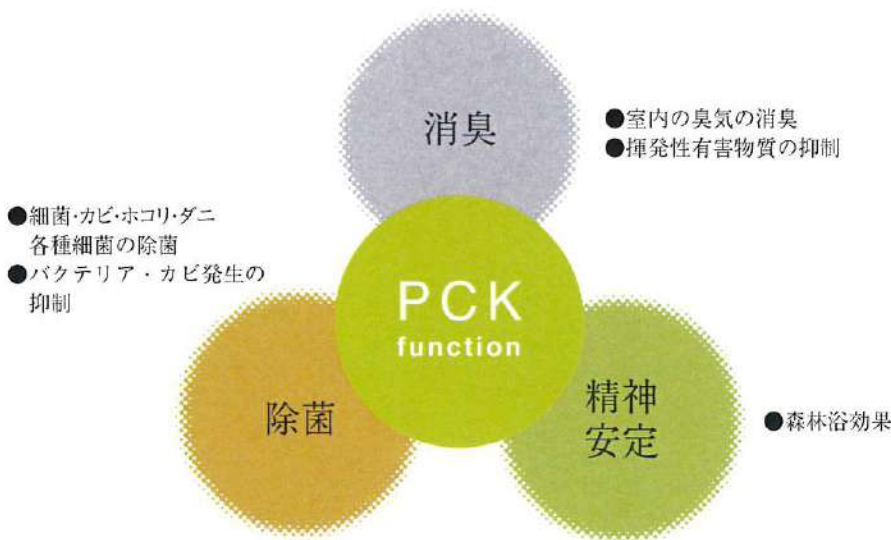
植物性  
除菌型  
消臭液  
PCK

Fieldscience  
Fieldscience  
Fieldscience  
Fieldscience



生活環境の質を変えるPCKの可能性。

高気密の住まいが増えてきて、私たちは無数のダニや細菌、湿気から発生するカビ、衣類等からのホコリや、安易に使用される化学物質などに囲まれ暮らしています。カーテンやカーペット、エアコンの使用が、細菌等の繁殖の場をつくっているという指摘もあります。理想はつねに自然な換気をするのですが、住宅事情や外気環境悪化により、年々換気しづらい状況になっています。「植物性除菌型消臭液PCK」は、環境保全と化学物質による人体への悪影響を回避することを目的として開発されました。成分は檜をはじめとする35種類の植物抽出エキスと精製水だけをブレンド。居住空間に噴霧したり、吹きつけるだけで、揮発性物質や気分を害する臭気等を抑制、細菌などを除菌し、より快適で質の高い環境空間を創りだしてくれます。これからの住環境の質を変える—PCKの可能性は無限です。



PCKは、各公的検査機関での試験により、効果効能・安全性をふまえ、自信を持ってお客様にご提供できる製品です。

## 森の生態系を守るために生まれる間伐材。PCKは、この間伐材を原料にしています。

PCKの原料は、各地の国有林で間引きや枝打ちされた間伐材。今までなら廃棄処分されていたこの間伐材にフィールドサイエンスは注目しました。間伐されているとはいえ、もともとは一本一本が森を構成していた樹木。芯にも、幹にも、皮や葉にさえも、自然のチカラが宿っています。フィールドサイエンスは、木曾ヒノキや青森ヒバなどさまざまな種類の間伐材の芯・幹・皮・葉の部位ごとに精油と水を抽出。殺菌作用・消臭作用・防カビ作用・防虫作用など部位によって違う有効成分を自社工場ですべて独自にブレンドし、PCKを製造しています。



### [PCKとは]

「植物性除菌消臭液PCK」は、間伐材から抽出された精油を含め35種類以上の樹草木から抽出された植物抽出エキスを使用しています。一つの樹木には、50種類以上もの成分が含まれていますが、樹種により成分も量も異なり、それらの成分は特有の働きを持っています。植物がもつ主な作用に、消臭作用、除菌作用、精神安定作用があります。「植物性除菌消臭液PCK」は、その中でも特に抗菌効果がある精油（ヒバ・ヒノキ・サワラ等）を多く配合し除菌効果を高めています。たとえば、ヒバ材から抽出されるヒバの精油中には、天然物質として極めて優れた抗菌性を有する成分「ヒノキチオール」が含まれています。ヒノキチオールの抗菌性は、最小発育阻止濃度（抗菌効果を発揮する最も少ない濃度）が、大腸菌では100μg/ml、黄色ブドウ球菌100μg/mlで、1リットル中に0.1g入っていれば大腸菌や黄色ブドウ球菌は近寄ることができません。医薬や化粧品、歯磨き製品、入浴剤等さまざまな分野で活用されています。



# PCKの効果

# 01



# 除菌

大学等の検査機関で徹底検証されたすぐれた除菌能力に、いま注目が集まっています。

「植物性除菌型消臭液PCK」は、ヒノキチオール等の働きにより大腸菌群(O-157)やメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)をはじめ、一般細菌・レジオネラ菌など各種細菌に対してすぐれた除菌作用を発揮。噴霧するだけで室内の隅々まで除菌し、継続的に使用することによりバクテリア・カビの発生を抑制することも実証されています。また、化学物質を使用していないため、体内に残留する等の人体へ及ぼす害がなく、安心して使えるという点でも、熱い注目を集めています。

## ◎PCK蒸散による殺菌試験結果



## ◎各大学検査機関での検査結果

### ■メチシリン耐性黄色ブドウ球菌／緑膿菌／大腸菌O-157

(MRSA/Pseudomonas aeruginosa/Escherichia coli O-157)

- 1) 試験機関 (財)北里環境科学センター  
2) 殺菌効果報告 3種類の試験菌ともに各作用時間直後に殺菌効力を認めた

試験株	作用時間			
	2.5分	5分	10分	15分
MRSA	0	0	0	0
Pseudomonas-aeruginosa	0	0	0	0
Escherichia coli O-157	0	0	0	0

(CFU/ml)

### ■バンコマイシン耐性腸球菌／ペニシリン耐性肺炎球菌

(Enterococcus faecium/Strptococcus pneumoniae No.4)

- 1) 試験機関 吉林大学医学部微生物学教室  
2) 殺菌効果報告 混釈した直後に検出限界以下まで生存菌数が減少しており、これらの菌に対する殺菌効果を認めた。

被検菌	作用時間	処理	作用時間		
			直後	1時間後	3時間後
バンコマイシン耐性腸球菌 (Enterococcus faecium)	PCK		< 10	< 10	< 10
	対照		$4.8 \times 10^5$	$4.7 \times 10^5$	$4.5 \times 10^5$
ペニシリン耐性肺炎球菌 (Strptococcus pneumoniae No.4)	PCK		< 10	< 10	< 10
	対照		$7.6 \times 10^4$	$7.1 \times 10^4$	$6.7 \times 10^4$

< 10検出限界以下 (CFU/ml)

## 結核菌

(牛結核菌 BCG株 RIMD 1314006)

- 1) 試験機関 (財) 北里環境科学センター  
 2) 殺菌効果報告 経過時間と共に菌数が減少、殺菌効果を認めた

試験液及び試験方法	作用時間						
	初発菌数	5分	10分	15分	30分	60分	
生理食塩液	$1.2 \times 10^5$	—	—	—	—	$1.8 \times 10^5$	
PCK	液体培地塗布法	—	$3.9 \times 10^4$	$3.1 \times 10^4$	$1.8 \times 10^4$	$6.0 \times 10^3$	$2.0 \times 10^1$
	検体MF法	—	$3.9 \times 10^4$	$2.6 \times 10^4$	$1.5 \times 10^4$	$4.4 \times 10^3$	$1.8 \times 10^1$

(CFU/ml)

## インフルエンザウイルスA型

- 1) 試験機関 吉林大学医学部微生物教室  
 2) 殺菌効果報告 1分間の接触によりインフルエンザウイルスの力価を1/30に低下させ、10～60分間の接触では1/50～1/100以上を減少した。直接的な抗インフルエンザウイルス効果が顕著に認められたため、感染予防効果をもつ可能性は存在する。

## 大腸菌／緑膿菌／黄色ブドウ球菌

(E. Coli GIFU3005/Ps. Aeruginosa GIFU274/S. Aureus IID975)

- 1) 試験機関 山形大学医学部  
 2) 殺菌効果報告

A. 大腸菌 (E. Coli GIFU3005)

試験液	作用時間	0分	1分	1時間	24時間
生理食塩水		$9.7 \times 10^5$	—	—	$3.1 \times 10^5$
PCK		—	0	0	0

(CFU/ml)

B. 緑膿菌 (Ps. Aeruginosa GIFU274)

試験液	作用時間	0分	1分	1時間	24時間
生理食塩水		$8.5 \times 10^5$	—	—	$2.7 \times 10^5$
PCK		—	0	0	0

(CFU/ml)

C. 黄色ブドウ球菌 (S. Aureus IID975)

試験液	作用時間	0分	1分	1時間	24時間
生理食塩水		$8.5 \times 10^5$	—	—	$2.6 \times 10^5$
PCK		—	0	0	0

(CFU/ml)

## 黄色ブドウ球菌／病原性大腸菌

(Staphylococcus aureus FP-10/Escherichia coli O-157:H7)

- 1) 試験機関 北海道大学  
 2) 殺菌効果報告 エキス塗布プレートでは、コロニー減少静菌、殺菌効果あり

## レジオネラ菌

(Legionella pneumophila subsp.pneumophila ATCC33154)

- 1) 試験機関 (財) 北里環境科学センター  
 2) 殺菌効果報告 5分間及び15分間の作用で殺菌効力を認めた

試験菌	初発菌数	作用時間		15分間対照
		5分間	15分間	
レジオネラ菌 (Legionella pneumophila subsp.pneumophila ATCC33154)	$5.2 \times 10^5$	< 10	< 10	$5.0 \times 10^5$

(CFU/ml)

## カンジタ菌

(Candida albicans 11511)

- 1) 試験機関 吉林大学医学部微生物教室  
 2) 殺菌効果報告 強い抗菌活性を持ち、真菌感染の予防に有用であると考えられる。

検菌名	菌濃度	試験液	1h	5h	9h	24h
カンジタ菌 (Candida albicans 11511)	$5.0 \times 10^2$	対照	$5.0 \times 10^2$	$4.8 \times 10^2$	$5.0 \times 10^2$	$2.0 \times 10^2$
		PCK	0	0	0	0
	$5.0 \times 10^4$	対照	$4.9 \times 10^4$	$2.9 \times 10^4$	$2.6 \times 10^4$	$2.5 \times 10^4$
		PCK	$5.0 \times 10^2$	$5.0 \times 10^2$	$1.0 \times 10^2$	0

(CFU/ml)



# PCKの効果

# 02

# 消臭

空気中に漂うさまざまな臭気の消臭と、建物の内装材等に含まれる揮発性有害物質を抑制します。

「植物性除菌型消臭液PCK」は樹木が持つ浄化作用を利用した中和反応消臭法で、アンモニア・硫化水素・トリメチルアミンなどさまざまな臭気を中和消臭します。臭気そのものを植物成分で中和消臭するので、香料などのマスキング類とは異なり混ざり合って不快な臭いになることがなく、高い減臭率を実現します。また、ホルムアルデヒドに代表される建物の内装材料等に含まれる揮発性有害物質の拡散も抑制することも確認されています。PCKは空気中のさまざまな臭気を消臭し快適な室内環境を保ちます。

## ◎消臭・脱臭効果一覧

消臭作用	主な悪臭の原因・場所	減臭データ値(平均)	減臭率	使用方法
アンモニア	■素材または、副原料から発生する臭気 ■周囲から流れ込む悪臭	100ppm→11ppm	89%	■素材に吹き付け(木材・布・空調等) ■悪臭の発生環境下で悪臭温度に合わせて噴霧 ■製造用材
硫化水素		85ppm→7ppm	91%	
トリメチルアミン		66ppm→13.8ppm	79%	
アセトアルデヒド		120ppm→67.2ppm	44%	
ホルムアルデヒド		79ppm→12.8ppm	83.7%	
ピリジン	タバコの喫煙等	14.2ppm→3.4ppm	76%	自動噴霧器 タバコ集塵機械への設置

「お香」の香りが、ストレスの解消や免疫機能の増進など身体に良い作用をおよぼすことは広く知られています。これとは逆に、悪臭などのネオイ物質が存在する環境では、疲労やストレスが溜まりやすくなったり、免疫機能の低下や生体機能への悪影響も徐々にあらわれてきます。

## ◎各種臭気が体に及ぼす影響

臭気種類	身体に及ぼす影響
アンモニア [ammonia ;NH <sup>3</sup> ]	反射的中枢興奮・血圧下降/上昇(二相性変化)・呼吸抗進 高濃度の場合は、呼吸困難・呼吸停止を招く・嘔吐・めまい・胃の激痛、目/のどに刺激(粘膜に刺激作用)
硫化水素 [hydrogen sulfid;H <sup>2</sup> S]	高濃度ガスは中枢神経を麻痺させるため、呼吸停止や失神を起こし蓄積する傾向がある。 1000~1500ppmで即死する。中毒症状
アミン類 [ammin;-NH <sup>2</sup> ]	神経作用
フェノール類 [phenol;-OH]	皮膚の腐敗・粘膜刺激・吐き気・めまい
アルデヒド類 [aldehyde;-CHO]	刺激性強度・気管および肺を刺激・粘膜炎症・肺浮腫
カプタン類 [captan;-SH]	麻薬作用・神経組織に害を及ぼす。

## 濃度別の身体影響の一例

硫化水素	10ppm	50~100ppm	100~200ppm	1000ppm
	目に刺激	鼻のどに刺激	1~8時間で生命危機	数分で死亡

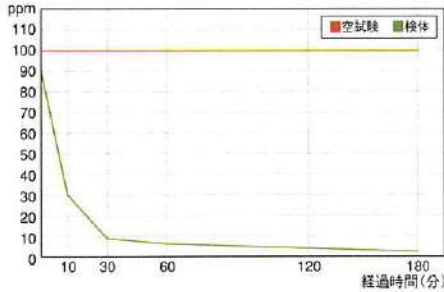
### ■アンモニア脱臭測定

検体 10 ml をテドラーバッグに入れ、空気ベースのアンモニア 3 ℓ (約 100ppm) を封入した後、経時的に袋内の残存ガス濃度をガス検知管で測定した。なお、検体を入れずに同様な操作を行ったものを空試験とした。

アンモニアの試験結果 (単位: ppm)

試料	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	30	8	7	4	3
空試験	100	100	100	100	100

初期条件: ガス濃度 約 100ppm  
ガス量 3 ℓ



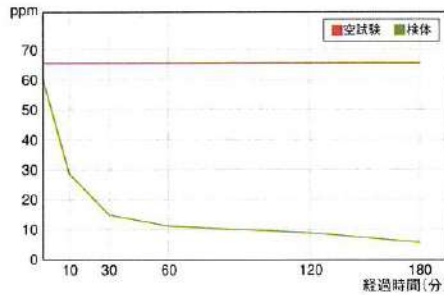
### ■トリメチルアミン脱臭測定

検体 10 ml をテドラーバッグに入れ、空気ベースのトリメチルアミン 3 ℓ (約 70ppm) を封入した後、経時的に袋内の残存ガス濃度をガス検知管で測定した。なお、検体を入れずに同様な操作を行ったものを空試験とした。

トリメチルアミンの試験結果 (単位: ppm)

試料	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	28	15	11	9	6
空試験	66	66	66	66	66

初期条件: ガス濃度 約 70ppm  
ガス量 3 ℓ



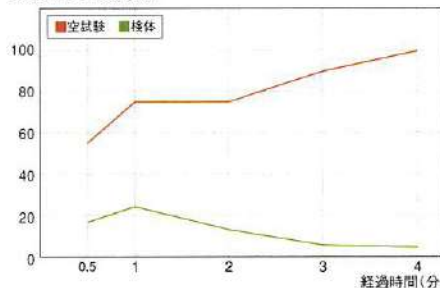
### ■ホルムアルデヒド脱臭測定

検体 10 g をそれぞれテドラーバッグに入れ密封し空気を 3 ℓ 注入。次にホルマリン (37% 溶液) をテドラーバッグ内に添加し経時的にガス濃度をガス検知管で測定した。なお、検体を入れずに同様な操作を行ったものを空試験とした。

ホルムアルデヒド濃度の試験結果

試料	ホルムアルデヒド濃度 (ppm)				
	0.5時間後	1時間後	2時間後	3時間後	4時間後
空試験	55	75	75	90	100
検体 (PCK)	17	23	13	6	5

ホルムアルデヒド濃度 (ppm)



(分析機関: 日本食品分析センター)

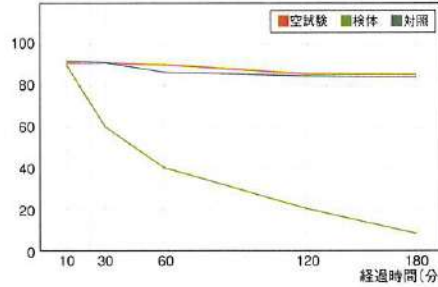
### ■硫化水素脱臭測定

検体 5g および対照として蒸留水 5g をそれぞれテドラーバッグに入れ密封し、空気を 3 ℓ 注入。次に硫化水素をこれらのテドラーバッグ内に注入し経時的にガス濃度をガス検知管で測定した。なお、検体を入れずに同様な操作を行ったものを空試験とした。

硫化水素濃度の試験結果

試料	硫化水素濃度 [ppm (V/V)]				
	10分後	30分後	60分後	120分後	180分後
空試験	92	92	90	86	85
検体	90	60	40	20	7
対象	93	92	86	84	83

硫化水素濃度 [ppm (V/V)]



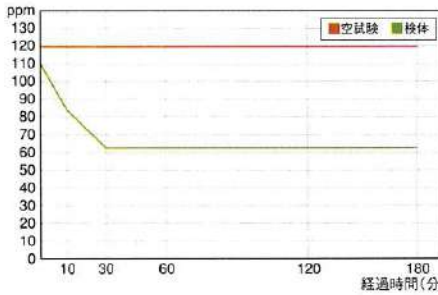
### ■アセトアルデヒド脱臭測定

検体 10 ml をテドラーバッグに入れ、空気ベースのアセトアルデヒド (約 120ppm) を封入した後、経時的に袋内の残存ガス濃度をガススクロメトグラフで測定した。なお、検体を入れずに同様な操作を行ったものを空試験とした。

アセトアルデヒドの試験結果 (単位: ppm)

試料	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	84	63	63	63	63
空試験	120	120	120	120	120

初期条件: ガス濃度 約 120ppm  
ガス量 3 ℓ



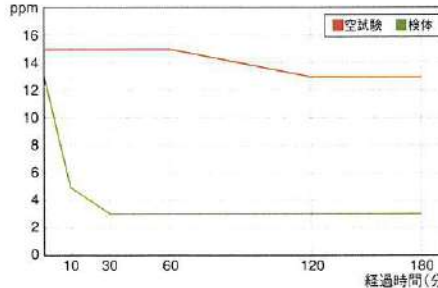
### ■ピリジン脱臭測定

検体 10 ml をテドラーバッグに入れ、空気ベースのピリジン 3 ℓ (約 15ppm) を封入した後、経時的に袋内の残存ガス濃度をガス検知管で測定した。なお、検体を入れずに同様な操作を行ったものを空試験とした。

ピリジンの試験結果 (単位: ppm)

試料	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	5	3	3	3	3
空試験	15	15	15	13	13

初期条件: ガス濃度 約 15ppm  
ガス量 3 ℓ



# PCKの効果

# 03

# 精神安定

自然治癒力や免疫力などの生理機能を高め、精神安定を促す「森林浴効果」も確認されています。

「植物性除菌型消臭液PCK」は前述の除菌・消臭作用のみならず、その樹木由来の香りが副交感神経を刺激することで、精神を安定させ、自然治癒力や免疫力などの生理機能を高めます。まるで森林浴をしているかのような、爽やかで清々しい快適な空間を作り出します。

日本生理人類学会にて、「木材の精油 (PCK) の香りが生理心理反応へ与える影響」としてPCKの効果を発表  
[研究機関] 九州芸術工科大学 生理人類学教室

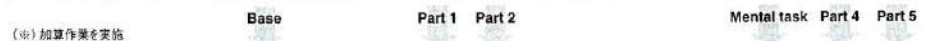
PCKの香りによって効果的な生理心理反応を得るには適切な濃度があることを、150倍溶液、500倍溶液、水(対照実験)を用いた比較実験で実証しました。

## ◎精神安定効果試験の概要

■実験スケジュール(単位:分)

(図1)

	香りなし			香り呈示				
	安静	基準値測定		セクションA		主観評価	精神作業(※)	セクションB
	15	3	5	15	5	1	5	15
脳波測定	—		—		—	—	—	
心電図	—		—		—	—		



(※) 加算作業を実施

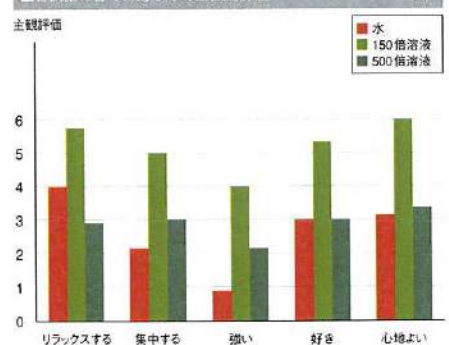
### ■実験試薬について

香りの刺激はPCKをプロピレングリコールで希釈した ■ 150倍溶液 (薬に感じる程度) と ■ 500倍溶液 (かすかに感じる程度) とし、対照実験として ■ 水(無臭)を用いました。

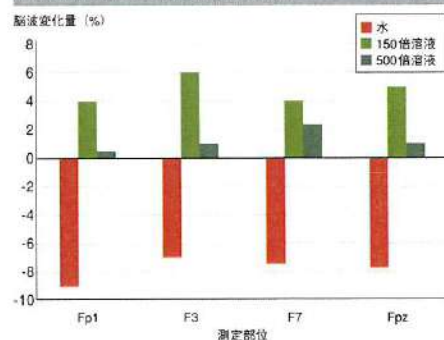
### ■結果及び考察

主観評価の結果(図2)では150倍の香りが水(無臭)と500倍の香りよりも図中の各評価値を有意に高めました。Part2時点(香り呈示-基準値)でβ波の変化量(図3)をみると、左前頭部(Fp1, F3, F7)で主観的に心地よいと判断された150倍の香りのほうが水(無臭)より有意に高めました。心拍数の変化(図4)では、150倍及び500倍の香りは安静時のHRを減少させているが、精神作業後のHRは150倍の香りにおいてのみ有意に減少しました。以上の結果から木材の香りによって効果的な生理心理反応を得るには適切な濃度があることが示唆されました。

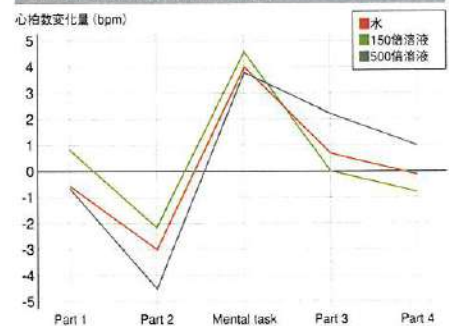
■各試薬の香りに対する主観的評価 (図2)



■脳波の変化量(測定方法:国際10-20法) (図3)



■実験中の各時点における心拍数の変化 (図4)





## ◎各分析機関及び大学機関での分析取得一覧

No.	分析機関	試験目的	分析対象	
1	徳州大学医療技術短期大学	殺菌効果試験	蒸発した液による抗菌作用及び消臭効果/MRSA	
2	北里環境科学センター	殺菌効果試験	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) /大腸菌/緑膿菌	
3	北里環境科学センター	殺菌効果試験	レジオネラ菌	
4	北里環境科学センター	殺菌効果試験	結核菌に対する殺菌効果試験	
5	杏林大学医学部微生物学教室	殺菌効果試験	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) /腸管出血性大腸菌	
6	杏林大学医学部微生物学教室	殺菌効果試験	バンコマイシン耐性肺炎球菌 (VRE) /ペニシリン耐性肺炎球菌および抗酸菌	
7	杏林大学医学部微生物学教室	殺菌効果試験	カンジタ菌 (Candida albicans) に対する殺菌効果	
8	杏林大学医学部微生物学教室	殺菌効果試験	インフルエンザウイルスA型への直接効果	
9	山形大学医学部	殺菌効果試験	MRSA/MSSA/S. Epidmidis/E. Fecum/P. Aeruginosa/E. Coli/S. Marcescens	
10	山形大学医学部	殺菌効果試験	大腸菌/緑膿菌/黄色ブドウ球菌	
11	北海道大学	殺菌効果試験	食中毒原因菌に対する殺菌、酵母菌について/黄色ブドウ球菌、病原性大腸菌	
12	山形大学医学部	脱臭効果試験	ホルマリン臭	
13	(財)日本環境衛生センター	殺菌効果試験	一般細菌/大腸菌/サルモネラ/黄色ブドウ球菌	
14	(財)日本環境衛生センター	殺菌効果試験	レジオネラ菌	
15	(財)日本食品分析センター	殺菌効果試験	最小発育阻止濃度 (MIC) の測定	
16	(財)日本食品分析センター	殺菌効果試験	落下菌数の測定/室内一般細菌	
17	(財)日本食品分析センター	殺菌効果試験	大腸菌 (O-157)	
18	(財)日本食品分析センター	殺菌効果試験	MRSA	
19	(財)日本食品分析センター	殺菌効果試験	落下菌数の測定/室内一般細菌	
20	(財)日本食品分析センター	脱臭効果試験	ホルムアルデヒド	
21	(財)日本食品分析センター	脱臭効果試験	アンモニア/硫化水素	
22	(財)日本食品分析センター	脱臭効果試験	トリメチルアミン/アセトアルデヒド	
23	(財)日本食品分析センター	脱臭効果試験	トリメチルアミン/アセトアルデヒド	
24	(財)日本食品分析センター	脱臭効果試験	アンモニア/トリメチルアミン/硫化水素/ピリジン/アセトアルデヒド	
25	(財)日本食品分析センター	脱臭効果試験	アンモニア/トリメチルアミン/硫化水素	
26	九州芸術工科大学 生理人類学教室	生理反応試験	木材の精油 (PCK) の香りが生理心理反応へ与える影響	
27	(財)東京都食品衛生協会	安全性試験	マウスに対する急性吸入毒性試験	異常なし
28	(財)日本食品分析センター	安全性試験	ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験	0.4 (一次刺激性インデックス評価)
29	(財)日本食品分析センター	安全性試験	ウサギを用いた眼刺激性試験	異常なし
30	(財)日本食品分析センター	安全性試験	マウスを用いた急性経口毒性試験 (限度試験)	20ml/kg 以上 (限度試験) 死亡例なし
31	(株)パナファーム・ラボラトリーズ	安全性試験	ウサギにおける眼粘膜一次刺激性試験	軽微な刺激性を有する
32	(株)パナファーム・ラボラトリーズ	安全性試験	ラットを用いた経口投与による急性毒性試験	死亡例なし



## 自然で爽やかな快適環境のために。 PCKはさまざまな分野で活躍しています。

# 製口 裂口口

檜をはじめとする35種類の天然植物抽出エキスをブレンドでつくるPCK。すでに医療の現場や医学・生物学研究所などで幅広く使用されています。たとえば、研究所では、滅菌後の悪臭除去や研究室内の除菌に。解剖学の教室では実験動物マウスの飼育時に発生する悪臭の除去や除菌に。生物学の教室では、研究室の除菌とリラクゼーション効果を高めるために。PCKならではの除菌・消臭・精神安定という3つの効果は高い評価を得ています。



汚泥処理の分野で…  
(硫化水素・アンモニア臭の消臭)  
「汚泥処理棟専用液PCK-GS10」

汚泥から発生する硫化水素やアンモニア臭の消臭に適しています。棟内環境の改善や外部排気の消臭等にご使用頂けます。



畜産や研究の分野で…  
(動物臭・腐敗臭の消臭)  
「除菌消臭液 畜産用BS10」

家畜などの動物が発する動物臭(アミン臭)、腐敗臭の消臭に適しています。また、検査、研究に使用する動物や検体、培地などが発する特異な臭気も消臭し、快適な環境をつくれます。



建築・リフォームの分野で…  
(ホルムアルデヒド等の拡散抑制やピリジンの消臭)  
「除菌消臭液 PCK-HR」

ホルムアルデヒドをはじめとする揮発性有害物質の拡散を抑制したり、タバコの喫煙等により発生するピリジンの臭気に適しています。



接客・サービス業の分野で…  
(複合臭・特定できない臭気の消臭)  
「除菌消臭液 PCK-EO」

複合臭や悪臭の原因を特定できない場合に、アンモニア・硫化水素・カプタン類・アミン類の4大臭気をはじめ、アセトアルデヒド・ピリジンや複合臭の消臭に適しています。

※各製品とも、内容量は5リットル・10リットル・20リットルで、性状は液体です。

## ◎PCKの納入実績

病院・福祉関連 (県立病院、市立病院、私立病院)	●病室 ●診察室 ●汚物処理室 ●病理室 ●腸管洗浄室 ●応接室 ●待合室
大学・保健所	●動物実験室 ●滅菌室 ●解剖室 ●動物飼育室
行政・地方自治体	●家畜保健所 ●下水道公社
福祉施設(老人ホーム)・特別擁護老人ホーム	●室内 ●カルチャールーム
食品加工工場	●保冷車内 ●スープ工場 ●油揚げ製造工場 ●食品物流倉庫 ●外食産業
リフォーム・改築	●室内消臭(ホルムアルデヒド臭)
缶・ペットボトルリサイクルセンター	
店舗	●ペットショップ(ゲージ、店内) ●釣り具店
サービス業	●ホテル ●カラオケボックス
製造メーカー	

# 空間の広さに合わせた噴霧方法が選べます。

PCKの除菌、消臭、精神安定作用を最大限に発揮するために、大型設備から、一般室内まで使用場所の広さに合わせてさまざまな噴霧方法をご提案しています。

80m<sup>3</sup>～500m<sup>3</sup>程度

◎作業場や大きな会議室・ロビーなどに



### コンプレッサー搭載タイプ

コンプレッサー搭載タイプ微細噴霧機なら、臭気発生箇所へのスポット噴霧から広域噴霧まで、1台で必要なときに、必要な場所で効果を発揮。噴霧する高さや方向が自在に設定でき、キャスター付きで移動も簡単。微細噴霧のため、作業している方や設備に水滴がつくこともありません。

型名(商品名): ミスト・ビークルカート  
 本体寸法: W500×D420×H(MAX)3000mm  
 電源: 100V 約750W(50/60Hz)  
 重量: 98kg(タンク空時)  
 備付コード: 5m  
 制御パネル: 急速:10W/9.5W、標準:7.5W/7W、弱:6W/5.5W  
 電源コード: 1.8m  
 タイマー: 入/切スイッチ、週間プログラムタイマー、手動タイマー  
 タンク容量: 18L/SUS304

※用途に合わせて簡易型などもラインナップしています。



60m<sup>3</sup>～80m<sup>3</sup>程度

◎さまざまな生活空間に

### 据え置きタイプ

小型ファンを使って除菌消臭液を気化して噴霧。除菌消臭液の微粒子が、室内を除菌消臭し快適な空間を創り出します。病院・老人ホーム(診察室・待合室・カルチャールーム等)、オフィス(応接間・待合室等)、ホテル(客室・ロビー)、飲食・サービス業(レストラン・カラオケボックス)などさまざまな場所で使われています。



型名(商品名): FS-MINI II  
 方式: 気化式  
 風力切換: 2段階(標準、急速)  
 タンク容量: 1L  
 電源電圧及び周波数: AC100V 50/60Hz  
 最大消費電力: 急速:4.5W / 標準:3.5W  
 電源コード: 1.2m(ACコード)  
 1本当たり消費時間: 約200時間(標準風速)  
 外形寸法: 奥行180×幅270×高さ277(mm)  
 重量: 約2.0kg(タンク空時)



スポット・コーナー

◎気になる場所に

### 簡易スプレーミストタイプ

気になるニオイをサッと消臭。いつでもどこでも気軽に除菌消臭ができる簡易スプレーミストタイプ。リビング・キッチン・トイレはもちろん、下駄箱・ペットゲージ・車の中などいろいろな場面で活躍します。まさに、“備えあれば、ニオイ無し!”。

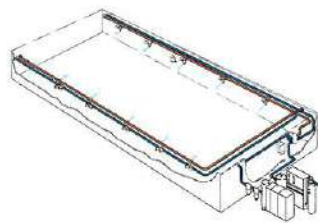


300m<sup>3</sup>以上

◎工場、施設などの大空間に

### オーダーメイドタイプ

お客様のご要望に合わせて噴霧設備をご提案いたします。工場や大型施設などの広いスペースでも、施設の大きさに合わせて噴霧ノズルを設置することができます。自動噴霧機能で、わずらわしさを省きつつ、除菌消臭効果を一定に保持することが可能です。もちろん既存施設への取り付けも可能です。

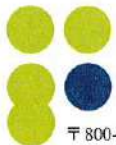


■小さな空間から大きな空間まで、様々な除菌消臭に対応できます。弊社(TEL093-483-3777)までご相談ください。





■製造元



株式会社フィールドサイエンス

〒800-0113 福岡県北九州市門司区新門司北2丁目2-9 TEL093-483-3777 FAX093-483-3772

■販売店

お問合せ先



株式会社フルテック

〒570-0032  
大阪府守口市菊水通2丁目4番16号

TEL : 06-6992-7115  
FAX : 06-6992-7116

